

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第 79 回 レベル 1PRA 分科会 議事録

1. 日時 第 79 回：2017 年 7 月 20 日（木）13:30～17:00

2. 場所 電力中央研究所大手町地区 872 会議室

3. 出席者

（出席委員）高田主査，桐本副主査，橋本幹事，牟田，岡野，石田，岩谷，喜多，小谷，
佐藤（輝），黒岩，谷口（12 名）

（常時参加者）濱口，野村，池田，丹野，友澤（5 名）

（敬称略）

4. 配布資料

P4SC-79-1 第 78 回 L1PRA 分科会議事録（案）

P4SC-79-2 停止時 PRA 標準改定案の標準委員会投票結果

P4SC-79-3 停止時 PRA 標準改定案に係るコメントへの対応

P4SC-79-4-1 内的事象 L1PRA 標準 議論検討用（抜粋）

P4SC-79-4-2 適用可能な手順及び実施例 議論検討用（抜粋）

5. 議事内容

（1）出席者/資料確認

委員 12 名が出席しており，分科会成立に必要な定足数を満足している旨が報告された。
また，配布された資料が確認された。

（2）第 78 回議事録の確認

資料 P4SC-79-1 を用いて第 78 回分科会の議事録を確認した。コメントがあれば連絡いただくこととし，特になければこのまま正式版とすることとなった。

（3）停止時 PRA 標準改定案の標準委員会投票結果について

資料 P4SC-79-2 により，停止時 PRA 標準改定案の標準委員会決議投票結果について可決された旨の報告があった。

（4）停止時 PRA 標準改定案に係るコメントへの対応・転載許諾について

資料 P4SC-79-3 により，停止時 PRA 標準改定案の標準委員会決議投票でのコメントについて説明があり，対応について議論を行った。また，今後の転載許諾の進め方について確認

した。コメント対応における主な議論は以下のとおり。今回議論を反映したコメント対応案は、別途メールにて分科会確認とする。

- ・標準策定計画へのコメント回答でのなお書きは削除する。
- ・箇条 4.2 へのコメントに対しては拝承とし、「格納容器隔離の有無」を「格納容器開放の有無」に修正する。
- ・箇条 8.2.1 へのコメントに対しては、損傷条件 PCT1200℃は蒸気雰囲気にある炉心への適用を念頭にしている旨とし、空気雰囲気での損傷温度低下の扱いと合わせて損傷条件の詳細については今後の検討課題として回答をまとめ、解説 8 にこれらの状況を追加するとともに本体規定から該当解説部分を直接参照とする。
- ・箇条 9.4 へのコメントに対しては、「格納容器が開放にある状態」が局所的に一部の設備（隔離弁、パーソナルエアロック等）が隔離されていない状態を想定していることを注書きとして追加し、考慮している状況を明確にするとともに、設備と合わせて操作もモデル化の対象として修正する。
- ・解説 1 へのコメントに対しては拝承とし、停止時 PRA が各種業務への「支援等への利用も行われている」とする。但し、保安規定作成には適用がないと考えられるため削除とする。
- ・解説 5 へのコメント回答として、不確かさに関連する損傷条件における解説 8 の状況を付記する。
- ・解説 7 へのコメントに対しては拝承とし、安全審査の他、安全性向上評価の PRA においても停止時 PRA が実施されていることを追加する。

(5) L1PRA 標準統合性能化検討

資料 P4SC-79-4-1 と資料 P4SC-79-4-2 により、出力運転時・停止時のレベル 1PRA 標準の統合と性能規定化に関する状況報告と今後の進め方について確認した。次回以降、箇条 7 から箇条ごとの審議を行っていく。

(6) スケジュール、その他

次回分科会は 9 月 21 日 PM を第一候補とする。関連するスケジュールは以下のとおり。

8 月 30 日 リスク専門部会（停止時 PRA 標準委投票対応）

9 月 6 日 標準委員会（停止時 PRA 標準委投票対応）

以 上